

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (11-01)

団体名	(特非) ミャンマー-KOBE	代表者名	理事長 猶原 信男
事業名	コロナ禍におけるミャンマー人への支援・交流事業		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月～2月 のべ25回	電話等	25 (25)	【生活相談会】 当初は、場所を決めて定例的に実施していたが、ミャンマー人のニーズは、携帯電話でのメール・電話を活用しての相談であったので、それに切り替えた。当法人の理事長・理事が、生活、居住、学校、仕事等の相談に応じた。
11月～12月 のべ7回	神戸国際 コミュニティセ ンター	390 (70)	【冬服衣料・寝具等の支給会】 日本で暮らすミャンマー人にとって日本の冬の寒さは厳しい。コロナ禍のなか生活が苦しいミャンマー人を対象に、寄付を受けた冬用の服や寝具をプレゼントした。プレゼント会は、11月から12月にかけて7回実施（午前10時～12時）し390人の参加があった。
10月29（土）	ふたば学舎	20 (10)	【ミャンマーに関する講演会】 当法人の鳴嶋副理事長は、ミャンマーにおいて水産業をはじめ幅広く事業を行ってきた。鳴嶋副理事長による、当該事業の紹介をもとにミャンマーの経済・政治・文化・国民性等の講演会を開催した。その後、参加者による意見交換を実施した。
9月28日（水） ～2月28日（火）	ひょうご国際 プラザ交流 ギャラリー コープリビング	ひょうご国 際プラザ交 流ギャラリ ー 230 コープリビ ング 不明	【ミャンマー写真展】 ミャンマーの少数民族の村に水道を作った人： 神戸市北区在住の佐々木晃一氏のミャンマーでの活動を紹介する写真展を開催した。 ひょうご国際プラザ交流ギャラリー （9月28日（水）～10月7日（金））での写真展終了後は、東灘区のコープリビング（10月8日（土）～2月28日（火））で写真を掲示した。

<効果と成果>

冬服衣料・寝具等の支給会については、神戸国際コミュニティセンターの支援を得て、国際交流・国際支援を行い民間団体は、多くのボランティアの協力を得て実施した。昨年度は、1回の実施であったが、今年度は、2か月間にわたり7回実施し、390人のミャンマー人に支給することができた。また、今年度は、冬物衣料に加え、毛布等の寝具も支給し好評を得た。

生活相談会については、時間・場所を設定するのではなく、適宜、相談しやすい時間・方法で対応することにし、生活全般や居住、学校、職業等様々な相談に対応することができた。

ミャンマーに関する講演会や写真展を開催することにより、一般市民等にミャンマーへの理解を深めていただくことができた。

<今後の展望>

今回計画していた事業は、滞りなく実施し、冬服衣料等の支給会をはじめ、大きな成果を得たと認識している。ミャンマーでは、本年1月よりパスポートの発行を停止しており、日本への入国が困難になっている。この措置がいつまで続くのか、国軍によるクーデターがいつまで続き、民主化はなされるのか、日本にいるミャンマー人は帰国できるのか、といった不透明な状況がしばらく続くと思われる。そのような中で、当法人としては、関連する団体やボランティア等と連携をとり、今後もミャンマー人の生活全般についての支援を続けていく。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
自己資金	85,494
合計	485,494

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	人件費	149,000	120,000
	消耗品費	58,949	40,000
	倉庫・車両賃借費	62,381	50,000
	その他(会場費・委託費等)	95,645	70,481
	小 計	365,975	280,481
	間接経費(一般管理費)	119,519	119,519
	合 計	485,494	400,000